

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 御中

プラスチック資源循環戦略（案）に対する意見

パルシステム生活協同組合連合会
代表理事 理事長 石田 敦史

私たちパルシステム生活協同組合連合会は「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」を基本理念として1都11県で活動している生活協同組合のグループです。当会は組合員・産地・メーカーとともに、商品の容器包装の削減や独自の物流システムを活用したリユース・リサイクルなど事業・活動の両面で環境負荷の低減に長年にわたり取り組んできました。

昨今プラスチック資源循環及び海洋プラスチック汚染等の問題に対する組合員の関心は高く、当会は2017年度から商品事業に伴うプラスチック製容器包装排出量を定量化し、更なる総量削減に向け取り組んでいます。

プラスチック資源循環戦略（案）（以下「案」）において、プラスチック資源循環に対する国としての方針が示され、レジ袋の有料化義務化や数値目標を含む「マイルストーン」が掲げられたことを歓迎します。プラスチックによる環境汚染が防がれ、生活者が将来にわたって豊かな環境の恵みを楽しみ続けられるよう、以下要望します。

意見の概要

1. 目指す社会像を提示し、実現のための要点とプロセスを明確化する戦略としてください
2. 早急なマイクロプラスチックの科学的リスク評価と必要な対策の実施を求めます

意見の内容

1. プラスチックによる複合的な環境問題に対処するためには、社会として目指すべき持続可能なゴールを共有し、実現のための要点を特定して取り組みのプロセスを明確化するバックキャストの取り組みが必要です。プラスチック資源循環戦略を既存の取り組みの延長に位置づけるのではなく、海洋汚染や気候変動、資源枯渇などの諸課題を踏まえた社会システムやくらし方の長期的なビジョンとするべきです(1頁2行目)。
また、プラスチックによる環境負荷を低減し民間における対策を推進するため、特に以下の点に関する記述の強化を要望します。
 - (1) 当会は産地・メーカーと協働してプラスチック製容器包装の減量化や再生材等の使用を推進していますが、原料の切り替えを進めるにあたりコスト上昇が課題となっています。再生材等を容器包装リサイクル法の再商品化委託申込対象からはずす等、政策的に再生材等の導入支援を強化することで、市場を拡大してさらなる技術革新やコスト低減を促すことを求めます(5頁6行目)。
 - (2) リデュース・リユース・マテリアルリサイクルを可能とする社会システムの構築を優先し、循環利用のひとつである熱回収は、ライフサイクル全体の環境負荷を考慮してやむを得ない場合の最終手段と位置付けるべきです(2頁28行目)。
2. 環境や生物、食品からのマイクロプラスチックの検出が相次いでおり、それに吸着する有害化学物質による人の健康や生態系への悪影響が懸念されています。予防的取組の考えに基づきマイクロプラスチックの科学的リスク評価及びリスク低減のために効果的な対策を早急に実施することを明記するべきです。また、プラスチックによる海洋汚染では、ワンウェイの容器包装・製品だけでなく野外環境で使用される製品プラスチック等による影響も指摘されています。製品プラスチック等の環境への流出とその影響に関する調査研究を推進し、必要な対策を実施するべきです(7頁21行目)。

以上